

No.	013	—	2001	事務事業名	観光振興事業				細事務事業名					公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	産業創出課		係名	商工観光係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	sangyososyutsu@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	3 観光・物産の振興				主要施策	(1)観光振興体制の確立				
事業の対象	市内外の観光客						根拠法令								
事業の目的	最終的	市の観光・物産の情報発信、情報収集、更に問合せ等への対応を行い、交流人口の拡大により本市経済の活性化、地域の発展を目指します。					今年度								
活動内容	①	市内観光・物産情報の発信					④	市内観光イベントの支援及び市外観光イベントの参加							
	②	市内観光・物産への問い合わせへのきめ細かな対応					⑤	観光物産協会への支援							
	③	観光関係の各種調査事務													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	観光入込客数			観光客増加度			千人	目標	1,240	1,240	1,240	1,300			
								実績	980	997					
	市観光物産協会会員数			観光物産協会会員数			人	目標	120	120	120	120			
								実績	105	105					
	坊っちゃん劇場入場者数			入場者数			人	目標	100,000	100,000	100,000	100,000			
実績								62,415	67,420						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	観光				費		
直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	305 千円		378 千円		801 千円							
	計(A)	305 千円		378 千円		801 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.561 人	3,378 千円	0.695 人	4,145 千円	0.695 人	4,178 千円						
	臨時職員工数・経費	0.323 人	621 千円	0.433 人	834 千円	0.433 人	855 千円						
全体事業費(A+B)		4,304 千円		5,357 千円		5,834 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	観光情報の発信、問い合わせ等により、市内の観光地を積極的にPRし、観光客誘致を行い、交流人口を拡大させることにより、地域経済の活性化を図る必要があります。													
有効性	本市の観光・物産のPRをすることにより、本市に興味関心を持ち訪れる人が多くなる事は、地域活性化につながる大切な事業です。													
達成度	市内の個々の観光施設は、市内外や県外からも多くの方が訪れるようになってきていますが、さらなる「東温市」の認知度UPが急務となっています。													
効率性	松山市、砥部町との広域観光連携により、効果的に事業を行なっています。また、県内外の市町や協定締結自治体等との連携にも取り組んでいます。													
当面の課題	市観光物産協会等をはじめ各事業所が作成したパンフレット等を基に、市の観光PRや誘客促進のためにモニターツアーなどを実施。今後モニターツアー参加者からのアンケートなどを通して、地域資源を活用し、更なる観光客誘客を図るためのツアー商品の造成が必要となります。													
改計画	市観光物産協会と連携し、モニターツアー等を基に旅行業者による商品化を進め、観光客の誘致に積極的に取り組みます。													
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		観光先として選択されるためには、本市の認知度をもっと高めなければなりません。そのためにも、更なる本市のPRに努める必要があります。観光物産協会や地域の方々と連携し、本市ならではの体験メニューやサービスの提供ができるよう取り組んでください。 また、「とうおん健康医療創生事業」で取り組んでいる「ヘルスケア産業の創生」におけるメニューも活用するとともに、平成30年4月1日オープン予定のさくらの湯観光物産センターや坊っちゃん劇場などを核とし、東温市でしか体験できない商品開発に取り組んでください。												

No.	013	—	2006	事務事業名	観光宣伝事業				細事務事業名					公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	産業創出課		係 名	商工観光係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	sangyososyutsu@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	3 観光・物産の振興				主要施策	(1)観光振興体制の確立		
	事業の対象	県内外の観光客						根拠法令						
	事業の目的	最終的	本市の魅力ある観光地や特産品のPRを積極的に行い、認知度のUPを図り観光客の誘致に取り組み、交流人口の拡大を目指します。最終的には、定住人口の増加、地域経済の発展につながるよう取り組みます。					今年度						
	活動内容	①	市長をトップとした観光PRキャラバン隊を編成し、本市の観光・物産のPR活動を行います。					④						
		②	観光・物産宣伝用資材の作成います。					⑤						
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標		
		観光P R キャラバン活動隊	実施回数			回	目標	3	3	2	2			
実績							3	2						
観光入込客数		観光客数			千人	目標	1,240	1,240	1,240	1,300				
						実績	980	997						
広域観光連携P R 活動数		実施回数			回	目標	3	3	4	4				
	実績					3	4							

D O O	予算費目	会計	一般会計				費目名	観光				費	
	直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	403 千円		659 千円		485 千円						
		計(A)	403 千円		659 千円		485 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.323 人	1,945 千円	0.323 人	1,926 千円	0.323 人	1,942 千円					
		臨時職員工数・経費	0.055 人	106 千円	0.050 人	96 千円	0.050 人	99 千円					
	全体事業費(A+B)		2,454 千円		2,682 千円		2,526 千円						

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	商工観光係		総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
	必要性	本市の認知度をUPさせるためには、市長自らのトップセールスによる観光PRキャラバンはとても効果があり、地域活性化に繋がる必要な事業です。													
	有効性	観光PRキャラバンを継続的に実施することにより、本市を知らない方々に直接本市の魅力を伝えることができるとともに、マスメディアにも取り上げられることもあり、非常に有効です。													
	達成度	観光PRキャラバンにより、あまり知られていない観光スポットや物産について周知することができており、多くの都道府県からの観光客が増加しつつあります。													
	効率性	広域観光連携推進協議会や本市観光物産協会と連携し、道後温泉に宿泊する観光客を本市へ回遊させる宣伝活動等を実施していきます。													
	当面の課題	観光PRキャラバン時に、市内の魅力ある観光スポットやグルメ(特産品・お店)を盛り込んだモデルコースを紹介するパンフレット(A4)を作成する必要があります。													
	改 革 画 計	中四国を中心に、本市の魅力を伝える観光PRキャラバンを実施するとともに、SNS等を活用した事業に取り組みます。													
	二次評価者	産業創出課長		総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項		本市をより効果的かつ効率的にPRするためには、広域観光連携推進協議会と積極的に取り組む必要があります。さらに、広島市、さぬき市、丸亀市、鳴門市、泉佐野市などの連携強化を図り、市民の交流増を目指してください。また、SNSを活用することはもちろん、トップセールスによる本市の観光PRキャラバンの実施は、費用対効果が高く、小さな自治体のメリットを最大限生かしている事業です。今後も継続した取組を実施してください。												